

## ■学校教育目標・学校経営について

①3.9→3.7 ②3.9→3.7 ③3.5→3.4

80日間の2学期。行事もたくさん行われた学期ではあるが、それぞれの職員が学校教育目標及び、学年・学級経営の方針に基づき、充実した教育活動が行われるように努力してきたと考えられる。一方で、すべての項目において評価が下がってしまった。学校生活での課題が明らかになり、もっと改善できるという先生方の意識の表れだと捉えたい。前回のアンケートでも「PDCAサイクルを活かした教育活動」については課題であったが、「C」（チェック）を引き続き丁寧に行い、それを「A」（アクション）改善に生かしていかなければならない。OJTを活かして若手の育成を図りつつ、学校として課題を全体でしっかり確認し、次年度へ向けての改善を図りたい。

## (1)安全・安心の保障

○生徒指導について ①3.9→3.7 ②3.9→3.8 ③3.9→3.7

生徒指導については、先生方が日常から児童との時間を大切に、保護者との連絡・連携も意識して行ってきた。終礼後の児童理解の時間を活用し、課題のある児童については全校で共有する中で、それぞれの立場で関わられるように努力を重ねてきた。しかし残念ながら、欠席が目立つ児童や、教室に入れない児童もいるのが現状である。それぞれの児童の居場所を学校の中につくっていくとともに、職員が連携をとりあって生徒指導に取り組んでいただきたい。

○安全指導について ①3.9→3.6 ②3.8→3.8 ③3.8→3.8

登下校については、不審者情報や保護者からの声など、課題があげられることもあった2学期であった。それぞれの事案に対して共有するとともに、児童への指導につなげてきた。また、避難訓練など計画的に実施するとともに、各学年においても学級指導の中で意識付けを行ってきた。引き続きコロナ禍にはあるが、手指消毒や換気に気を付けるとともにマスクの着用や給食時の会話など指針を基に指導をお願いしたい。

## (2)学力の保障

○学習指導について

①3.8→3.6 ②3.6→3.7 ③3.2→3.3 ④3.4→3.3 ⑤3.3→3.3 ⑥3.1→3.2

前回に続き①、②での評価が高く、学級づくりを基に基礎基本の定着を図るため授業の工夫・改善に努めた先生方の日々の努力が伺われる。初任研の授業提供校としても1学期に続き、学級づくりについて評価をいただいている。12月の公表された体力テストの結果では、統計を行っている5年生の結果が過去最低となり、児童のコロナ禍における運動経験の不足が問題となっている。運動会の取組や、委員会活動での外遊びの励行等、工夫した取り組みが今後も求められる。家庭学習の取組も2学期から装い新たにスタートしているが、各学年で児童の学習の様子を紹介するなどして、定着を図っていききたい。

○多様な学習と質の高い授業の実践

①3.5→3.4 ②3.4→3.5

町の研修でミライシードの使い方を学んだり、校内研修で地図帳の使い方を研修したりと職員も電子機器の活用に向けた研修を積み、それを児童の学習に活かせるように取り組んできた。GIGAAssについても学年の実態に応じた指導を行っていただいている。長期休業中の家庭への持ち帰りやオンライン授業の積極的な活用など、ICT機器の活用を今後も積極的にこなしていかなければならない。

## (3)信頼の醸成 (4)参加の促進

○目指す教師像 ①3.8→3.7 ②3.9→3.6 ③3.8→3.7

全職員が、教育公務員としての自覚を持ち、職務の遂行に当たっている。校務分掌に応じて、学校運営に意欲的にかかわり、昭和町のテーマでもある、地域との連携やSDGsの取組をどう取り入れていくことができるか考えてくださっている結果だと思ふ。

○保護者や地域の人々と参画・協働・熟議・互恵を基調とした開かれた信頼される学校の創造

①3.7→3.7 ②3.8→3.6 ③3.7→3.7 ④3→3.1

各学年の学年だより、学校だより、毎日更新されるblog等、校長先生を先頭に学校の様子を発信するとともに、地域や保護者からいただく意見に耳を傾けるよう努めてきた。運動会やふれあい探検、各学年の校外学習においても地域の人材や素材を活かせるように取り組んだ2学期であった。来年は押原小CSも10年の節目を迎えるので、開かれた学校・信頼される学校を目指して取組をすすめていきたい。

